



Information-technology
Promotion
Agency, Japan

「IT人材白書2012」

【データ編 掲載調査一覧】

2011年度実施調査

郵送アンケート調査は、過年度からの継続調査として実施しました。

また、WEBアンケート調査は、2011年度までに実施したIT人材個人向け調査の一部を、調査対象を拡張して実施したものです。

IT人材白書2012からの引用は、出典(当機構名、資料名)をご明記頂いた上でご利用ください。

対象	調査名	アンケート方法	マーク	ページ番号
企業・教育機関向け	(1)「IT人材動向調査」 (IT企業向け)	郵送		3
	(2)「IT人材動向調査」 (ユーザー企業向け)	郵送		5
	(3)「オフショア動向調査」 (IT企業向け)	郵送		7
	(4)「情報系学生・教育動向調査」 (教育機関向け)	郵送		9
個人向け	(1) IT技術者動向調査 (IT企業のIT技術者向け)	WEB		11
	(2) IT技術者動向調査 (ユーザー企業のIT技術者向け)	WEB		13
	(3) IT技術者動向調査 (組込みソフトウェア開発携わるIT技術者)	WEB		15
	(4) IT技術者動向調査 (3技術者全体)	WEB		17
	(5) 情報系学科卒業生動向調査	WEB		19
	(6) 未踏人材の実態調査	WEB		21

(1)「IT人材動向調査」(IT企業向け)

■「IT人材動向調査」(IT企業向け)の調査概要

調査対象	IT関連の業界団体(JEITA ³ 、JISA ⁴ 、CSAJ ⁵ 、JUAS ⁶)の会員企業 +東京商工リサーチ社データベース登録企業等(計3,000社)
調査方法	郵送アンケート
調査期間	2011年9月27日～10月11日(約2週間)
回収率	549社/3,000社(18.3%)

3 JEITA : 一般社団法人電子情報技術産業協会 (Japan Electronics and Information Technology Industries Association)

4 JISA : 一般社団法人情報サービス産業協会 (Japan Information Technology Service Industry Association) ormation Technology Industries Association)

5 CSAJ : 社団法人コンピュータソフトウェア協会 (Computer Software Association of Japan)

*2011年度調査時点。2012年4月1日より一般社団法人に組織変更。

6 JUAS : 社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (Japan Users Association of Information Systems)

*2011年度調査時点。2012年4月1日より一般社団法人に組織変更。

■「IT人材動向調査」(IT企業向け)の設問概要

「IT人材動向調査」(IT企業向け)	
回答企業概要	
事業内容とIT人材の動向について	
IT人材の職種別動向について	
IT人材の新卒採用と産学連携への取り組みについて	
情報処理技術者試験の活用について	
東日本大震災の影響について	
外国籍IT人材の状況について	

回答企業概要	
従業員規模	
資本系列企業業種	
主要顧客【国内】	
主要顧客【海外】	
同業者受発注比率【同業者からの受注割合】	
同業者受発注比率【同業者への発注割合】	
主要法人顧客業種	
主要顧客所在地域	
事業内容とIT人材の動向について	
I-①	主要事業【現在】 主要事業【拡大】 主要業種【縮小】
I-②	スキル標準が対象とする人材
I-③-1	スキル標準の活用状況
I-③-2	ITSSを今後も活用する予定はない理由
I-③-3	ITSS活用・検討の際の課題
I-④(1)	人材育成年間費用の年間総人件費に対する割合(%)
I-④(2)	人材育成投資への回答が難しい項目
I-④(3)	今年度人材育成費用の増減見込み
I-⑤	昨年度の離職率
I-⑥-1-1	IT人材の「量」
I-⑥-1-2	IT人材の「質」
I-⑥-2	具体的に最も強く不足を感じる点
I-⑥-3	IT人材の質が不足している原因
I-⑥-4	不足が課題となり始めた時期
I-⑦	各業務を担当するIT人材に特に不足している点
I-⑧	不足しているスキルの明確化の状況

IT人材の職種別動向について	
II-①	IT人材の「量」の過不足感 IT人材の「質」の過不足感
II-②	所属IT人材の人数
II-③(1)	1年間の人材動向【増加職種】 1年間の人材動向【変化なし】 1年間の人材動向【減少職種】
II-③(2)a.	今後の人材動向【拡大職種】
II-③(2)b.	今後の人材動向【拡大手段】
II-③(2)c.	今後の人材動向【削減職種】
II-③(2)d.	今後の人材動向【拡大・削減の目標】
IT人材の新卒採用と産学連携への取り組みについて	
III-①	新卒IT人材人数(名) 新卒IT人材中の女性の割合(%)
III-②	理系人材の割合(%) 情報系専攻者数(名)
III-③	新卒IT人材の質・水準に対する全体的な満足度
III-④	今後重点的に採用したい学生の専攻・学歴
III-⑤	産学連携・協力等の内容
III-⑥	産学連携に取り組む主な目的
III-⑦	今後産学連携による人材育成への取り組み
情報処理技術者試験の活用状況について	
IV-①	「情報処理技術者試験」の活用状況
IV-②	受験が各個人に任されている理由
IV-③-1	情報処理技術者試験を活用している理由
IV-③-2	情報処理技術者試験の活用によって見込まれる成果
東日本大震災の影響について	
V-①	東日本大震災によるIT人材の配置や確保への影響
V-②	東日本大震災を契機に発生している事象
V-③	発生事象に伴い人員配置等に関して実施している取り組み
外国籍IT人材の状況について	
VII-①	外国籍IT人材の就労の有無
VII-②	昨年度9月頃と比較した外国籍IT人材の数
VII-③	今後1年程度の間外国籍IT人材の増減意向
VII-④	外国籍IT人材を採用するもっとも大きな理由

(2)「IT人材動向調査」(ユーザー企業向け)

■「IT人材動向調査」(ユーザー企業向け)の調査概要

調査対象	東証1部、東証2部、マザーズ、ジャスダックなどの上場企業のうち、IT企業を除く企業(計3,000社)
調査方法	郵送アンケート
調査期間	2011年9月27日～10月11日(約2週間)
回収率	335社/3,000社(11.2%)

■「IT人材動向調査」(ユーザー企業向け)の設問概要

「IT人材動向調査」(ユーザー企業向け)	
回答企業概要	
IT部門とIT人材の状況について	
東日本大震災後の影響について	
ITサービスの利用動向について	
情報処理技術者試験の活用について	

回答企業概要	
従業員規模	
業種	
資本系列	
主要顧客【国内】	
主要顧客【海外】	
CIO設置状況	
CIO設置状況【種類】	
IT子会社の有無	
経営者権ありの子会社数	
経営者権なしの子会社数	
最大IT子会社の対親会社売上割合	
IT部門とIT人材の状況について	
I-①	IT関連業務専任部署の有無 IT部門の人材数 IT部門以外IT関連業務専任担当人材数 IT関連業務担当専任人材の有無 専任人材数 他業務兼任IT管理担当の有無 兼任人材数 IT関連業務担当合計人材数(名)
I-②-1	情報システムユーザースキル標準(UISS)の活用状況
I-②-2	ITスキル標準(ITSS)の活用状況
I-③-1	IT人材の「量」
I-③-2	IT人材の「質」
I-④	IT人材の「質」: 具体的に最も強く不足を感じる点
I-⑤	IT人材の「質」: 不足が課題となり始めた時期
I-⑥	IT人材の「質」: 各業務を担当するIT人材に特に不足している点
I-⑦-(1)	主として担当しているIT関連業務の分担体制 部分的・補助的に担当しているIT関連業務の分担体制
I-⑦-(2)	自社内担当人材数(名)
I-⑦-(3)	IT関連業務での自社内担当人材割合
I-⑦-(4)	自社で今後強化すべき業務 子会社等外部への委託を進めたい業務

IT部門とIT人材の状況について	
I-⑧	昨年度からの各業務量の増減傾向
I-⑨	IT投資額の増減
東日本大震災後の影響について	
II-①	東日本大震災を契機に発生している事象
II-②	自社における新たな取り組みのために実施・検討していること
ITサービスの利用動向について	
III-①	現在利用している外部(ITベンダー)のITサービス 現在利用している外部(ITベンダー)のITサービス【海外】 利用の拡大を考えているもの 利用の拡大を考えているもの【海外】 利用の縮小を考えているもの
III-②(A)	クラウド関連サービスの利用状況
III-②(B)	クラウド関連サービスの今後の利用意向
情報処理技術者試験の活用について	
IV-①	「情報処理技術者試験」の活用状況

(3)「オフショア動向調査」(IT企業向け)

■「オフショア動向調査」(IT企業向け)の調査概要

調査対象	ITサービス・ソフトウェア関連の業界団体(4団体)の会員企業 +中国・インド系ITベンダー等(計1,100社)
調査方法	郵送アンケート
調査期間	2011年9月27日～10月11日(約2週間)
回収率	257社/1,100社(23.4%)

■「オフショア動向調査」(IT企業向け)の設問概要

「オフショア動向調査」(IT企業向け)	
回答企業概要	
オフショア開発の実施状況について	
オフショア開発の取り組み状況について	
オフショア開発に対する今後の意向について	

回答企業概要	
従業員規模	
資本系列企業業種	
主要法人顧客業種	
オフショア開発の実施状況について	
I-①-a	海外法人への直接発注
I-①-b	海外法人への間接発注
I-②	海外法人への直接発注総額 発注先国【直接発注】
	海外法人への間接発注総額 発注先国【間接発注】
I-③	オフショア開発対象の国別の業務
I-④	主要なオフショア開発相手国別にみたオフショア開発の目的
I-⑤	オフショア開発相手先国別の評価推移
I-⑥	2011年度オフショア開発実績の増減
	2011年度オフショア開発実績の増減割合
I-⑦	オフショア開発実績の増減を見込む理由
I-⑧	オフショア開発等を担う海外現地法人の業務
オフショア開発の取り組み状況について	
II-①	オフショア開発の平均的なコスト削減効果
II-②	オフショア開発によるコスト削減目標の達成度
II-③-a	オフショアベンダーの生産性
II-③-b	オフショアベンダーの人月単価
II-④	オフショア開発においてコストの増加要因となること
II-⑤	オフショア開発における遅延・品質トラブル発生原因
II-⑥	オフショア開発のトラブル予防のために実施している取り組み
II-⑦	オフショア開発を統括・管理する専任部署の設置状況
II-⑧	専任部署の今後強化が必要と考える機能・役割
II-⑨	自社内のオフショア開発の位置づけ
II-⑩	オフショア開発の実施に関する判断基準の有無

オフショア開発に対する今後の意向について	
III-①-1	今後のオフショア開発取り組み意向【現在実施している企業】 拡大したい場合
III-①-2	今後のオフショア開発取り組み意向【現在していない企業】
III-②	当面実施の予定はない理由
III-③-1	オフショア開発に対して感じる課題
III-③-2	オフショア開発に対しての課題【未実施の場合】
III-④	オフショア開発の委託先を選ぶ際の重視点
III-⑤	オフショア開発の進展による影響の有無
III-⑥	オフショア企業の進出やオフショア開発の進展が与える影響
III-⑦	今後のオフショア開発で新たに検討している国や興味のある国

(4)「情報系学生・教育動向調査」(教育機関向け)

■「情報系学生・教育動向調査」(教育機関向け)の調査概要

調査対象	大学・大学院、高等専門学校、専門学校の情報系学科(以下①②③) ①大学・大学院:「理工系情報学科・専攻協議会」加盟学科・専攻 ②高等専門学校:情報工学系の学科を設置している高専 ③専門学校:「全国専門学校情報教育協会」に加盟している専門学校と、「リクルート進学ネット」で「コンピュータを扱う仕事」として検索された学校のうち、プログラマやシステムエンジニア向けの学科を設置している学校(※ゲームやマルチメディア関連学科は対象外とした)
調査方法	郵送アンケート
調査期間	2011年10月14日～10月28日(約2週間)
回収率	218学科・専攻等／470学科・専攻等(46.4%)

■「情報系学生・教育動向調査」(教育機関向け)の設問概要

「情報系学生・教育動向調査」(教育機関向け)	
回答機関概要	
志願者の動向について	
入学者の動向について	
卒業者の動向について	
教育内容について	
産学連携について	
情報処理技術者試験の利用について	

回答機関概要	
学校種類①	
学校種類②	
志願者の動向について	
I-①-1	前年度と比較した志願者数の変化
I-①-2	他の学科と比較した際の状況
入学者の動向について	
I-②-1	昨年度と比較した入学者数の変化
I-②-2	他の学科と比較した際の状況
I-③-1	入学する学生の2～3年間の「質や水準」の変化
I-③-2	他学科と比較した際の状況
I-③-3	学生の「質や水準」の低下を感じる点
I-④	昨年度と比較した留学生の数
卒業者の動向について	
II-①	増加傾向にある就職・進路先 減少傾向にある就職・進路先
II-②-1	昨年度と比較した卒業生に対する企業の需要の変化
II-②-2	他の学科と比較した際の状況
II-③	2～3年前と比較した留学生の日本企業就職希望者の変化
教育内容について	
III-①	学科・専攻教育カリキュラムにおいて重視している方針
III-②	グローバルに活躍できる人材育成の為に実施している取り組み
III-③	実践的科目の開講状況

産学連携について	
IV-①	現在実施している取り組み/今後実施したい取り組み
IV-②	連携・協力先の企業へ就職することに対する考え
IV-③	今後の産学連携教育への取り組み意向
IV-④	IT・情報系分野の産学連携教育の重要性は高まるか
IV-⑤(1)	現在産業界のIT人材に求められていると考える能力・スキル
IV-⑤(2)	学科カリキュラムにおいて特に重視している能力・スキル
IV-⑤(3)	今後特に教育を強化すべきと考える能力・スキル
IV-⑥	産業界の問題意識について
IV-⑦	産業界の問題を受けて取り組んでいること
情報処理技術者試験の利用について	
V-①	情報処理技術者試験の利用について

(5) IT技術者動向調査(IT企業のIT技術者向け)

■IT技術者動向調査(IT企業のIT技術者向け)の調査概要

調査対象	IT業務に従事するIT技術者
調査方法	WEBアンケート
調査期間	2011年10月上旬～10月中旬
回答者数	1,000名

■ IT技術者動向調査(IT企業のIT技術者向け)の設問概要

IT技術者動向調査(IT企業のIT技術者向け)
回答者属性
現在の仕事と希望について
キャリアアップに向けた取り組みについて
キャリアアップに向けた個人の取り組みについて
将来に対する意識と変化への対応力について
業務上で使用したことがあるプログラミング言語について

IT技術者動向調査(IT企業のIT技術者向け、ユーザー企業のIT技術者向け、組込みソフトウェア開発に携わるIT技術者向け)は、各IT技術者向けで、固有設問(選択肢が固有の設問を含む)があります。詳細は設問一覧をご覧ください。

回答者属性	
性別	
結婚	
年代	
地区	
Q1	職業
Q2	最終学歴
Q3	業種
Q4	職種
Q5	勤務先の従業員規模
Q6	最終学歴での専攻分野
Q7	就職活動時に、どの程度(強く)IT関連の仕事に就きたいと思っていたか
Q8	勤務先企業の資本系列
Q9	業務経験年数
Q10	転職の回数
Q11	転職に対する考え方
Q12	転職を考える理由
Q13	転職先として希望する(転職してもよいと考えている)企業
現在の仕事と希望について	
Q14	現在の仕事を選んだ理由
Q15	現在の仕事や職場の環境に対する満足度
Q16	現在の仕事に関する給与面以外の悩みや問題点
Q17	現在の職場において、自分の実力が正当に評価されていると感じているか
Q18	上司や会社からどの程度将来を期待されていると思うか
Q19	現在の仕事について
Q20	仕事に関するあなたの希望について
Q21	提示したような各仕事に対する興味や意欲
キャリアアップに向けた取り組みについて	
Q22	あなたにとっての“キャリアアップ”とは
Q23	日頃どのくらいの勉強を行なっているか
Q24	スキルアップやキャリアアップのために取り組んでいること
Q25	スキルアップやキャリアアップのためにそれぞれ取り組む時間数
Q26	キャリアアップのための自分の努力は十分であると思うか
Q27	この先5年程度の間、あなた自身に求められる技術・スキルは変化すると思うか

キャリアアップに向けた個人の取り組みについて	
Q28	あなたが次に目指している職種
Q29	「IT以外の仕事に就きたい」理由
Q30	現在の「レベル」と最終的な目標としている「レベル」
Q31	勤務先の人事制度や人材育成制度のなかで、スキル標準を活用しているか
Q32	(独)情報処理推進機構(IPA)が実施している「情報処理技術者試験」のうち受験したことがある試験
Q33	受験したことがある試験のうち、合格したことがある試験
Q34	「情報処理技術者試験」を受験している理由
Q35	「情報処理技術者試験」を受験しない理由
将来に対する意識と変化への対応力について	
Q36	仕事や将来に対するあなたの考え方
Q37	自分の将来のキャリアに対して感じている強い不安の具体的な内容
Q38	自分の将来のキャリアに対して強い不安を感じない理由
Q39	技術変化に関する意識比較
Q40	自分自身にとって、現在もっとも不足しているスキルや知識
Q41	自分自身にとって特に不足していると感じるもの
Q42	IT関連産業のグローバル化を身近に感じたことはあるか
Q43	あなたの企業は、このようなグローバル化によって、今後影響を受けると思うか
Q44	今後日本のIT技術者にも影響を与えるのではないかという意見に対し、グローバル化に対してどのような印象を持っているか
Q45	業務上で外国語を使うことがあるか
Q46	今後、業務上で語学力が必要になると思うか
Q47	日頃、語学力向上に取り組んでいるか
Q48	今後10年間程度の産業の変化を考えた場合、自分にとって重要となるスキルや特に強化すべきスキル【技術系スキル】
Q49	今後10年間程度の産業の変化を考えた場合、自分にとって重要となるスキルや特に強化すべきスキル【技術系以外のスキル】
業務上で使用したことがあるプログラミング言語について	
Q50	業務上で使用したことがあるプログラミング言語

固有設問(選択肢が固有の設問を含む)

(6) IT技術者動向調査(ユーザー企業のIT技術者向け)

■IT技術者動向調査(ユーザー企業のIT技術者向け)の調査概要

調査対象	IT業務に従事するIT技術者
調査方法	WEBアンケート
調査期間	2011年10月上旬～10月中旬
回答者数	1,000名

■ IT技術者動向調査(ユーザー企業のIT技術者向け)の設問概要

IT技術者動向調査(ユーザー企業のIT技術者向け)
回答者属性
現在の仕事と希望について
キャリアアップに向けた取り組みについて
キャリアアップに向けた個人の取り組みについて
将来に対する意識と変化への対応力について

IT技術者動向調査(IT企業のIT技術者向け、ユーザー企業のIT技術者向け、組込みソフトウェア開発に携わるIT技術者向け)は、各IT技術者向けで、固有設問(選択肢が固有の設問を含む)があります。詳細は設問一覧をご覧ください。

回答者属性	
性別	
結婚	
年代	
地区	
Q1	職業
Q2	最終学歴
Q3	業種
Q4	現在の担当業務
Q5	勤務先の従業員規模
Q6	最終学歴での専攻分野
Q7	就職活動時に、どの程度(強く)IT関連の仕事に就きたいと思っていたか
Q8	勤務先企業の資本系列
Q9	業務経験年数
Q10	転職の回数
Q11	転職に対する考え方
Q12	転職を考える理由
Q13	転職先として希望する(転職してもよいと考えている)企業
現在の仕事と希望について	
Q14	現在の仕事を選んだ理由
Q15	現在の仕事や職場の環境に対する満足度
Q16	現在の仕事に関する給与面以外の悩みや問題点
Q17	現在の職場において、自分の実力が正当に評価されていると感じているか
Q18	上司や会社からどの程度将来を期待されていると思うか
Q19	現在の仕事について
Q20	仕事に関するあなたの希望について
Q21	提示したような各仕事に対する興味や意欲
キャリアアップに向けた取り組みについて	
Q22	あなたにとっての“キャリアアップ”とは
Q23	日頃どのくらいの勉強を行なっているか
Q24	スキルアップやキャリアアップのために取り組んでいること
Q25	スキルアップやキャリアアップのためにそれぞれ取り組む時間数
Q26	キャリアアップのための自分の努力は十分であると思うか
Q27	この先5年程度の間、あなた自身に求められる技術・スキルは変化すると思うか

キャリアアップに向けた個人の取り組みについて	
Q28	あなたが次に目指している職種
Q29	「IT以外の仕事に就きたい」理由
Q30	現在の「レベル」と最終的な目標としている「レベル」
Q31	勤務先の人事制度や人材育成制度のなかで、スキル標準を活用しているか
Q32	(独)情報処理推進機構(IPA)が実施している「情報処理技術者試験」のうち受験したことがある試験
Q33	受験したことがある試験のうち、合格したことがある試験
Q34	「情報処理技術者試験」を受験している理由
Q35	「情報処理技術者試験」を受験しない理由
将来に対する意識と変化への対応力について	
Q36	仕事や将来に対するあなたの考え方
Q37	自分の将来のキャリアに対して感じている強い不安の具体的な内容
Q38	自分の将来のキャリアに対して強い不安を感じない理由
Q39	技術変化に関する意識比較
Q40	自分自身にとって、現在もっとも不足しているスキルや知識
Q41	自分自身にとって特に不足していると感じるもの
Q42	IT関連産業のグローバル化を身近に感じたことはあるか
Q43	あなたの企業は、このようなグローバル化によって、今後影響を受けると思うか
Q44	今後日本のIT技術者にも影響を与えるのではないかという意見に対し、グローバル化に対してどのような印象を持っているか
Q45	業務上で外国語を使うことがあるか
Q46	今後、業務上で語学力が必要になると思うか
Q47	日頃、語学力向上に取り組んでいるか
Q48	今後10年間程度の産業の変化を考えた場合、自分にとって重要となるスキルや特に強化すべきスキル【技術系スキル】
Q49	今後10年間程度の産業の変化を考えた場合、自分にとって重要となるスキルや特に強化すべきスキル【技術系以外のスキル】

固有設問(選択肢が固有の設問を含む)

(7) IT技術者動向調査(組込みソフトウェア開発に携わるIT技術者向け)

■ IT技術者動向調査(組込みソフトウェア開発に携わるIT技術者向け)の調査概要

調査対象	IT業務に従事するIT技術者
調査方法	WEBアンケート
調査期間	2011年10月上旬～10月中旬
回答者数	600名

■ IT技術者動向調査(組込みソフトウェア開発に携わるIT技術者向け)の設問概要

IT技術者動向調査(企業の組込み技術者向け)
回答者属性
現在の仕事と希望について
キャリアアップに向けた取り組みについて
キャリアアップに向けた個人の取り組みについて
将来に対する意識と変化への対応力について

IT技術者動向調査(IT企業のIT技術者向け、ユーザー企業のIT技術者向け、組込みソフトウェア開発に携わるIT技術者向け)は、各IT技術者向けで、固有設問(選択肢が固有の設問を含む)があります。詳細は設問一覧をご覧ください。

回答者属性	
性別	
結婚	
年代	
地区	
Q1	職業
Q2	最終学歴
Q3	業種
Q4	職種
Q5	勤務先の従業員規模
Q6	最終学歴での専攻分野
Q7	就職活動時に、どの程度(強く)IT関連の仕事に就きたいと思っていたか
Q8	勤務先企業の資本系列
Q9	業務経験年数
Q10	転職の回数
Q11	転職に対する考え方
Q12	転職を考える理由
Q13	転職先として希望する(転職してもよいと考えている)企業
現在の仕事と希望について	
Q14	現在の仕事を選んだ理由
Q15	現在の仕事や職場の環境に対する満足度
Q16	現在の仕事に関する給与面以外の悩みや問題点
Q17	現在の職場において、自分の実力が正当に評価されていると感じているか
Q18	上司や会社からどの程度将来を期待されていると思うか
Q19	現在の仕事について
Q20	仕事に関するあなたの希望について
Q21	提示したような各仕事に対する興味や意欲
キャリアアップに向けた取り組みについて	
Q22	あなたにとっての“キャリアアップ”とは
Q23	日頃どのくらいの勉強を行なっているか
Q24	スキルアップやキャリアアップのために取り組んでいること
Q25	スキルアップやキャリアアップのためにそれぞれ取り組む時間数
Q26	キャリアアップのための自分の努力は十分であると思うか
Q27	この先5年程度の間、あなた自身に求められる技術・スキルは変化すると思うか

キャリアアップに向けた個人の取り組みについて	
Q28	現在の職種
Q29	あなたが次に目指している職種
Q30	「開発(IT)関連業務以外の仕事に就きたい」理由
Q31	現在の「レベル」と最終的な目標としている「レベル」
Q32	勤務先の人事制度や人材育成制度のなかで、スキル標準を活用しているか
Q33	(独)情報処理推進機構(IPA)が実施している「情報処理技術者試験」のうち受験したことがある試験
Q34	受験したことがある試験のうち、合格したことがある試験
Q35	「情報処理技術者試験」を受験している理由
Q36	「情報処理技術者試験」を受験しない理由
将来に対する意識と変化への対応力について	
Q37	仕事や将来に対するあなたの考え方
Q38	自分の将来のキャリアに対して感じている強い不安の具体的な内容
Q39	自分の将来のキャリアに対して強い不安を感じない理由
Q40	技術変化に関する意識比較
Q41	自分自身にとって、現在もっとも不足しているスキルや知識
Q42	自分自身にとって特に不足していると感じるもの
Q43	強化すべきと感じているスキル
Q44	スキルを習得する上で課題として感じていること
Q45	IT関連産業のグローバル化を身近に感じたことはあるか
Q46	あなたの企業は、このようなグローバル化によって、今後影響を受けると思うか
Q47	今後日本のIT技術者にも影響を与えるのではないかという意見に対し、グローバル化に対してどのような印象を持っているか
Q48	業務上で外国語を使うことがあるか
Q49	今後、業務上で語学力が必要になると思うか
Q50	日頃、語学力向上に取り組んでいるか
Q51	今後10年間程度の産業の変化を考えた場合、自分にとって重要となるスキルや特に強化すべきスキル【技術系スキル】
Q52	今後10年間程度の産業の変化を考えた場合、自分にとって重要となるスキルや特に強化すべきスキル【技術系以外のスキル】

固有設問(選択肢が固有の設問を含む)

(8) IT技術者動向調査(3技術者全体)

■ IT技術者動向調査(3技術者全体)の調査概要

調査対象	IT業務に従事するIT技術者
調査方法	WEBアンケート
調査期間	2011年10月上旬～10月中旬
回答者数	2,600名

■ IT技術者動向調査(3技術者全体)の設問概要

IT技術者動向調査(3技術者全体)
回答者属性
現在の仕事と希望について
キャリアアップに向けた取り組みについて
キャリアアップに向けた個人の取り組みについて
将来に対する意識と変化への対応力について

IT技術者動向調査(IT企業のIT技術者向け、ユーザー企業のIT技術者向け、組込みソフトウェア開発に携わるIT技術者向け)で、共通の設問をまとめたものです。

回答者属性	
性別	
年代	
結婚	
地区	
Q1	職業
Q2	最終学歴
Q3	勤務先の従業員規模
Q4	最終学歴での専攻分野
Q5	就職活動時に、どの程度(強く)IT関連の仕事に就きたいと思っていたか
Q6	業務経験年数
Q7	転職の回数
Q8	転職に対する考え方
Q9	転職を考える理由
Q10	転職先として希望する(転職してもよいと考えている)企業
現在の仕事と希望について	
Q11	現在の仕事を選んだ理由
Q12	現在の仕事や職場の環境に対する満足度
Q13	現在の仕事に関する給与面以外の悩みや問題点
Q14	現在の職場において、自分の実力が正に評価されていると感じているか
Q15	上司や会社からどの程度将来を期待されていると思うか
Q16	現在の仕事について
Q17	仕事に関するあなたの希望について
Q18	以下のような仕事に対する興味や意欲
キャリアアップに向けた取り組みについて	
Q19	あなたにとっての“キャリアアップ”とは
Q20	日頃どのくらいの勉強を行なっているか
Q21	スキルアップやキャリアアップのために取り組んでいること
Q22	スキルアップやキャリアアップのためにそれぞれ取り組む時間数
Q23	キャリアアップのための自分の努力は十分であると思うか
Q24	この先5年程度の間、あなた自身に求められる技術・スキルは変化すると思うか

キャリアアップに向けた個人の取り組みについて	
Q25	現在の「レベル」と最終的な目標としている「レベル」
Q26	勤務先の人事制度や人材育成制度のなかで、スキル標準を活用しているか
Q27	(独)情報処理推進機構(IPA)が実施している「情報処理技術者試験」のうち受験したことがある試験
Q28	受験したことがある試験のうち、合格したことがある試験
Q29	「情報処理技術者試験」を受験している理由
Q30	「情報処理技術者試験」を受験しない理由
将来に対する意識と変化への対応力について	
Q31	仕事や将来に対するあなたの考え方
Q32	自分の将来のキャリアに対して感じている強い不安の具体的な内容
Q33	自分の将来のキャリアに対して強い不安を感じない理由
Q34	技術変化に関する意識比較
Q35	自分自身にとって、現在もっとも不足しているスキルや知識
Q36	IT関連産業のグローバル化を身近に感じたことはあるか
Q37	あなたの企業は、このようなグローバル化によって、今後影響を受けると思うか
Q38	今後日本のIT技術者にも影響を与えるのではないかという意見に対し、グローバル化に対してどのような印象を持っているか
Q39	業務上で外国語を使うことがあるか
Q40	今後、業務上で語学力が必要になると思うか
Q41	日頃、語学力向上に取り組んでいるか
Q42	今後10年間程度の産業の変化を考えた場合、自分にとって重要となるスキルや特に強化すべきスキル【技術系スキル】
Q43	今後10年間程度の産業の変化を考えた場合、自分にとって重要となるスキルや特に強化すべきスキル【技術系以外のスキル】

(9) 情報系学科卒業生動向調査

■ 情報系学科卒業生動向調査の調査概要

調査対象	情報系教育機関で実践的教育を受講した経験のある卒業生(13大学対象)
調査方法	WEBアンケート
調査期間	2011年10月上旬～10月中旬
回答者数	81名

■ 情報系学科卒業生動向調査の設問概要

情報系学科卒業生動向調査
回答者属性
卒業した学校の実践的な教育内容について
仕事に対するあなたの将来の目標等について
キャリアアップに向けた取り組みについて
就職活動について
実践的な教育のメリットとデメリット

回答者属性	
Q1	卒業校
Q2-1	卒業・終了課程
Q2-2	卒業年
Q3	社会人経験年数
Q4	勤務先の従業員数
Q5	勤務先の業種
Q6	職種
Q7	所属部門
Q8	入社後に業務として携わった開発工程
卒業した学校の実践的な教育内容について	
Q9	実践的な教育コース・講座を履修していた年次
Q10	実践的な教育コース・講座を選んだ理由
Q11	履修した実践的な教育コース・講座の形態
Q12	以下のうち、あなたが実践的な教育コース・講座の中で学習・経験した内容
Q13	実践的な教育コース・講座の中で学習・経験した内容のうち入社後特に役立っていると感じるもの
Q14	実践的な教育コース・講座を受講したことにより身に付いたと感じるもの
Q15	現在の仕事においても何らかの形で役立っていると感じるもの
Q16	実践的な教育コース・講座を受講したことによるメリット
Q17	実践的な教育コース・講座のカリキュラムに対する満足度
仕事に対するあなたの将来の目標等について	
Q18	リーダーや管理職の仕事に対する興味や意欲
Q19	自分にとって現在もっとも不足しているスキルや知識
Q20-1	あなたにとって特に不足していると感じるもの
Q20-2	同じ社内の同年代の人材(特に理系や情報系出身の人材)と比較して、あなたが優れていると感じるもの

キャリアアップに向けた取り組みについて	
Q21	日頃どのくらいの勉強を行なっているか
Q22	スキルアップやキャリアアップのために取り組んでいること
Q23	スキルアップやキャリアアップのための取り組みの平均的な時間数
Q24	(独)情報処理推進機構(IPA)が実施している「情報処理技術者試験」のうち受験したことがある試験
Q25	受験したことがある試験のうち、あなたが合格した試験
Q26	卒業後に入社した企業の採用形態
Q27	就職活動を行った際、実践的な教育コース・講座を履修した経験は、企業側の採用担当者にとどの程度評価されたか
就職活動について	
Q28	就職活動の過程で実践的な教育コース・講座に講師や協力企業等として参画している企業の新卒採用に応募したか
Q29	卒業後に入社した企業は、実践的な教育コース・講座に講師や協力企業等として参画している企業だったか
Q30	就職活動を行う際、実践的な教育コース・講座で得た経験や人脈は、どの程度役に立ったか
実践的な教育のメリットとデメリット	
Q31	自身が受講したような実践的な教育コース・講座の履修を後輩にも勧めるか

(10) 未踏人材の実態調査

■ 未踏人材の実態調査の調査概要

調査対象	IPAにより認定された未踏人材(705名)
調査方法	WEBアンケート
調査期間	2011年11月上旬～12月上旬
回答者数	187名

■ 未踏人材の実態調査の設問概要

未踏人材の実態調査
回答者属性
直近1年間に行われた取り組み
未踏成果事業化に能っての阻害要因と対策
東日本大震災の支援に関する取り組み状況
未踏人材のキャリアパス分析
未踏事業成果の活用状況
未踏人材の活躍のための支援方策

回答者属性	
Q1	未踏事業終了時点での所属組織等
Q2	回答時点の所属組織等
Q3	現在従事している仕事
Q4	現在の自分の役割
Q5	所属組織の属性: 設立時期
Q6	所属組織の属性: 従業員規模
直近1年間に行われた取り組み	
Q7	直近1年間に行われた取り組み
未踏成果事業化に能っての阻害要因と対策	
Q8	成果の事業化にあたっての阻害要因
Q9	今後の事業化に向けて期待・要望する支援措置
東日本大震災の支援に関する取り組み状況	
Q10	東日本大震災に関連して行った活動について
未踏人材のキャリアパス分析	
Q11	未踏事業終了後の最初の所属組織等の異動について
Q12	未踏事業終了後の最初の所属組織等の異動について 異動は未踏事業成果と関係するものか
Q13	新たな所属組織
Q14	未踏事業終了後の2番目の所属組織等の異動について
Q15	未踏事業終了後の2番目の所属組織等の異動について 異動は未踏事業成果と関係するものか
Q16	新たな所属組織
Q17	未踏事業終了後の3番目の所属組織等の異動について
Q18	未踏事業終了後の3番目の所属組織等の異動について 異動は未踏事業成果と関係するものか
Q19	新たな所属組織
Q20	未踏事業終了後の4番目の所属組織等の異動について
Q21	未踏事業終了後の4番目の所属組織等の異動について 異動は未踏事業成果と関係するものか
Q22	未踏事業終了後の5番目の所属組織等の異動について
Q23	未踏事業終了後の5番目の所属組織等の異動について 異動は未踏事業成果と関係するものか

未踏事業成果の活用状況	
Q24	あなたは、IPAの未踏事業を通じて得た成果や、その経験をもとに培った能力について、現在どの程度活用していると思うか
Q25	あなたは、IPAの未踏事業を通じて得た成果や、その経験をもとに培った能力を活かしている活動等
Q26	あなたは、IPAの未踏事業を通じて得た成果や、その経験をもとに培った能力を活用していない理由
未踏人材の活躍のための支援方策	
Q27	4種類の中から1つ選ぶとすればどのような仕事がしたいか
Q28	未踏事業の採択者やPM経験者などとの交流について
Q29	今以上に活躍するための将来像とそのための道筋は
Q30	将来像が持てない理由
Q31	将来像を実現するための計画が不明確な理由
Q32	今後、いっそうの活躍をするために身につけたい知識・能力
Q33	今後、自らの能力の発揮の観点から、取り組んでみたい活動